社会活動

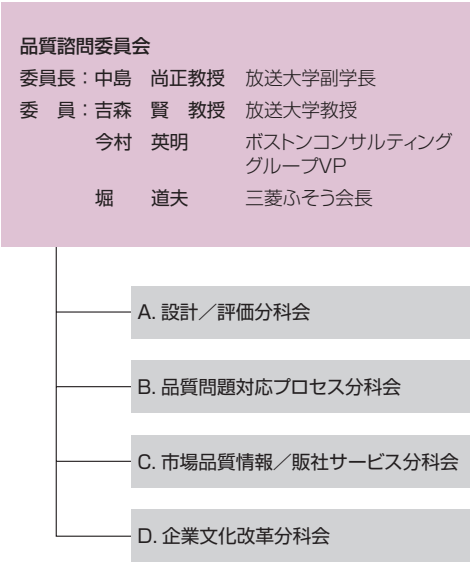
品質保証

● 品質改善への取り組み

三菱ふそうでは、企業理念・ビジョン※1の中で、「社会的責任」「品質重視」「先進技術」「人材の育成」など8つの要素を重要課題として取り組んでいます。
従来三菱ふそうでは製品の品質保証体制について、お客様の視点での商品づくりを実現し、これが機能していることを検証するシステム※2を構築していたはずでした。しかし、2004年に入って、過去に放置した不具合が重大事故につながり、お客様や社会に多大なご迷惑をお掛けしていたことが判明しました。
現在、お客様の信頼回復に向けて、以下の3つの主要施策を実施して品質保証体制の建て直しを図っています。※3

（1）独立した品質諮問委員会の設置

放送大学副学長の中島尚正教授を委員長に、社外の専門家と当社幹部で構成し、下部組織として4つの分科会を設置しました。分科会では品質保証体制並びに企業文化の改善について、具体的な対策を検討して委員会に諮問し、社外の視点から公平で透明性の高い評価と指示を受け、改革を推進しております。

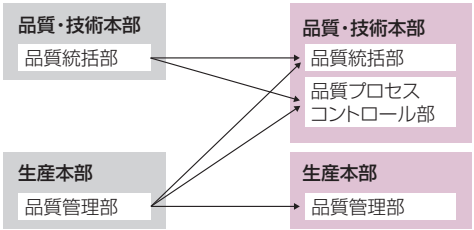


（2）企業文化改革推進委員会の設置

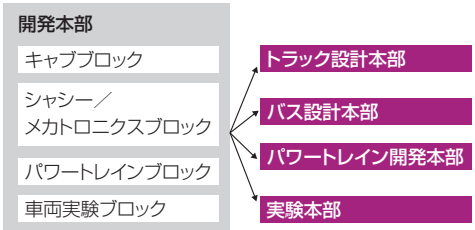
社内の各部署から12名のメンバーを集めて、当社の企業文化、組織風土上の問題点を検討し、あるべき姿へ変革する為の提言をしております。（品質諮問委員会の企業文化改革分科会）

（3）品質管理・開発組織の抜本的改変

品質保証部門では市場の品質情報を適確に収集し、分析し、改善対策を開発・生産へ反映させる体制を強化いたしました。
開発部門では、商品として総合的な厳しい評価ができるように、設計部門とは独立した実験部門（実験本部）を設置いたしました。



品質保証組織の改変（品質保証体制の強化）



開発組織の改変（実験部門の独立）

三菱ふそうは、経営陣から社員全員まで今回の一連の品質問題を真摯に受け止めており、品質には決して妥協せず、徹底的な変革を迅速に断行して参ります。そして従来にもまして安心してお使いいただける商品をお届けいたします。

解　説

※1 企業理念・ビジョン：本誌4ページをご参照ください。
※2 生産本部で1998年に品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9002:1994の認証を取得し、2001年にはISO9001:2000に移行していた。
※3 詳しくはインターネットのホームページ http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/iqip/index.html をご覧ください。

企業倫理

● 企業倫理の取り組み

三菱ふそうは過去の反省をふまえ、企業倫理に関する以下のような取り組みを進めています。

（1）推進の体制

①企業倫理委員会

三菱ふそうは「公正で透明性の高い企業イメージをアピールすること」及び「企業活動と社員行動における指針を明確にすること」を目的として、2003年4月に「企業倫理委員会」を設置しました。

委員会は法令問題・道義的問題等の発生予防と問題発生時の調査・対策を審議します。

②倫理小委員会

具体的方針・活動計画の立案を担当します。

③調査小委員会

重要問題が発生した時に臨時に設置され、調査と対応策の立案を担当します。

④コードリーダー

各部門での具体的な推進を担当します。

（2）行動指針の制定

三菱ふそうは役員・社員が日々の業務を遂行するうえで基本的な判断基準となる「三菱ふそう行動指針（以下、行動指針）」を制定しています。

行動指針は法令・社内規定・社会ルール遵守など6項目から構成され、冊子及びイントラネットでいつでも確認できるようにしてあり、役員・社員は自分の言動が行動指針に反しないか自問自答することが求められています。

行動指針大項目

（1）法令、社内規定、社会ルールの遵守
（2）意欲と能力が発揮できる職場づくり
（3）お客様や社会との良好なコミュニケーション
（4）会社財産と企業情報の保護
（5）公正、公平、透明性あるビジネス活動
（6）社会との共生

（3）相談窓口の設置

三菱ふそうは法令違反・セクハラ・人権関係など職場に関する相談を受ける「社員相談室」を社内に設置するとともに「社外・相談窓口」を社外の弁護士事務所に委嘱し、問題を見つけた社員が相談できる体制を整えています。

従業員との関わり

● 安全・衛生

（1）労働安全

安全で作業者に優しい職場環境の実現に向け、『社員の安全と健康の確保は全てに優先する』ことを基本的な考えとして、全員参加で労働災害防止活動を継続的に実施しています。活動は、①不安全行動の排除強化②設備の本質安全化の継続③類似災害の防止徹底の3本柱を中心に推進し、休業災害・不休業災害に加え、微小なケガも含めた災害の根絶に努めており、究極の目標であります『災害ゼロ』を目指しています。

（2）交通安全

社員の交通事故防止や意識の向上を目指し、交通安全講習会や通勤時の車両・自転車・歩行者への交通指導を実施しています。また、新入社員を対象に車両運転時の危険感受度診断テストを実施し、感受性や認知度等のアドバイスを行っています。

（3）快適な職場づくり

社員が作業しやすい職場環境を形成するため、専門委員会等を設置し、現場をはじめとした全般的な作業環境改善を計画的に推進しています。

（4）健康づくり

『健康は自らつくり管理するもの』という考え方を基本に各自や職場に対し、産業医、保健師が支援しています。また、健康診断結果に基づく生活習慣病予防の指導等を職場に出向いて実施しています。

（5）メンタルヘルス

精神科医、カウンセラーの配置等、相談しやすい体制を用意しています。また、社員に対しメンタルヘルスに関する教育を実施しています。

● 人事制度

三菱ふそうでは、競争の激しい商用車業界の中で、グローバル企業として成長を継続していくために、人事制度の改革を行っています。

具体的には、従来の年功的な要素を払拭して、評価、報酬、昇進など処遇全般を、職務・役割や成果に基づき決定する成果重視型の人事制度への移行を進めています。

このような新人事制度は、2002年4月から管理職を対象に導入し、2003年4月から一般社員にも拡大しました。

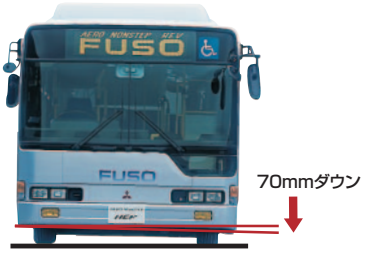
社会活動

製品を通じた福祉活動（バリアフリー）

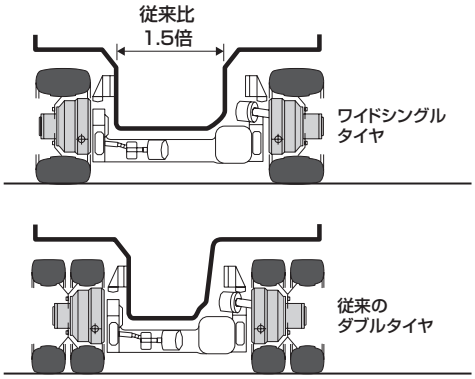
● ノンステップバス

路線バスにおいては、乗る人すべてにやさしい低床バスの普及が進んでいますが、交通バリアフリー法の施行後はそのニーズが一層高まっています。三菱ふそうは1997年に国内初の大型低床バスを「ノンステップバス」として発売したのを皮切りに、低床バスの普及に努めてきました。
2004年2月に発売した「エアロノンステップHEV」では、前扉部から中扉部まで、段差を無くしたノンステップ車体構造を採用し、ステップ地上高は300mmで、電子制御ニーリングシステム（車体左側70mmダウン）とあわせて乗降しやすくしています。また車椅子利用の方の乗降を配慮しスロープ板など交通バリアフリー法に適合しています。さらに後輪に超扁平シングルタイヤとコンパクトな高出力モーターをあわせることでリヤアクスル、サスペンションの基本構造の変更なしに後輪部の通路幅を従来車に比べ約1.5倍に拡大し、車内移動性を向上させました。

ノンステップバス



ニーリングシステム（乗降の際、乗り降りしやすいように左片側のみダウン）



ワイドシングルタイヤの効果

スポーツ活動

● スポーツイベント等への協賛

三菱ふそうは、1989年からの三浦国際市民マラソンへの特別協賛や「箱根駅伝」への車両提供などを行っています。
また2004年2月から、地元密着でお客様（サポーター）を第一に考える企業姿勢を持ちつづけている、サッカーJリーグ「浦和レッドダイヤモンズ」のユニフォームスポンサーになりました。

三浦国際市民マラソン

● 野球

三菱ふそうの硬式野球部は、社会人野球の名門であり都市対抗野球に地区代表として16回出場し、2000年・2003年と2回の優勝を果たしています。また、オリンピックの日本代表やプロ野球選手も輩出しており、日本野球の発展に大きく寄与しています。

都市対抗野球

地域社会との共生

● 地域の皆さま／団体との共生

三菱ふそうでは、下記の活動を通して地域の皆さまと交流・融和を目指しています。

工場見学会
●地域の皆さま、小学校、団体、社員の家族等を対象に実施
2003年度見学者数　計2,319人

学校への協力
●市内小学校対象の野球教室を開催
●地元小学校への写真付ニュースの提供

会社施設の開放
●体育館やグランドを地域の皆さまに開放
●カルチャーフェアや大感謝市を開催

地元自治会への加入
●祭り・フェスティバル等への協賛

環境関連等団体への参加や寄付

● 周辺地域の清掃・緑化

三菱ふそう各工場では、地域との共生並びに社員のモラル向上の一環として工場周辺の清掃活動を自発的に実施しています。また、川崎市主催の緑化推進運動に参加し「花と緑のある街づくり」の推進に協力しています。

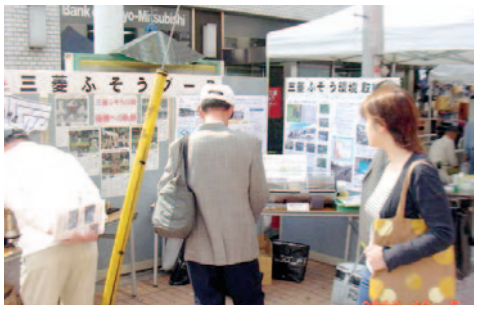
工場周辺の清掃活動

● 地域の環境活動関係

三菱ふそうでは2003年度には、次のような地域の環境関連のイベントに協賛して、環境を配慮した技術や製品および生産工場での環境保全の取り組みをご紹介しています。

行　事　名	主　　催	実　施　日	開催場所
モトスミブレーメン通り オクトーバーフェスタ	地元商店街	10月5日	川崎市中原区 元住吉西口
川崎市環境フォーラム	川崎市	2月15日	川崎駅東口 地下街アゼリア

モトスミブレーメン通り　野球優勝パレード



モトスミブレーメン通り　環境活動紹介風景

川崎市環境フォーラム　三菱ふそうブース